

座間市こども計画(素案)に係る事前質問・意見一覧

通し番号	資料番号	ページ数	項目	質問・意見内容
1	資料1	P. 13 P. 15 P. 25	市民のニーズ等	市の子育て環境・支援の満足後が低いことを危惧しております。 共働き世帯は増えているが、アンケート項目の放課後に習い事をさせるパーセンテージの大幅低下（習い事の厳選）、物価高で経済的負担が大きい的大幅増、【現在の暮らしの状況】で4分の1以上の家庭が「苦しい・大変苦しい」と答えていることは、子育て世代の経済不安が如実に出ている結果だと思うのですが、新たな経済支援策の記載は見当たらなかったのですが、経済的支援で新しく進める取組はありますか。
2	資料1	P. 27	基本目標（目標 1）	目標 1「安心して子育てするための支援充実」に対して「保育所等利用の待機児童の解消」を1番目に掲げていますが、座間市は「待機児童解消することが最も安心して子育てすることに寄与する」と考えを持っているということでしょうか。
3	資料1	P. 27	基本目標（目標 2）	目標 2で支援にはさまざまな取り組みがある中で「食育の推進」を特記した意図はありますか。科学的に誤った「食育」を推進する自治体もあるため、座間市の姿勢が気になりました。
4	資料1	P. 27	基本目標（目標 6）	「子育て世帯の貧困の解消に向けた取組を推進」に関する具体的な取組があればお伺いさせていただきたいです。
5	資料1	P. 35 P. 37	休日保育事業 延長保育事業	現在の利用状況を教えてください（週6日以上の利用を希望する家庭はどの程度あるのか、延長保育を連続で利用する家庭はどの程度あるのか）。休日保育や延長保育は保護者の就労のために欠かせないと思いますが、同時に子どもへの負担も気になります。利用に関する制限・条件または希望する家庭と子どもに対する支援等は何かお考えでしょうか。
6	資料1	P. 36	地域子育て支援拠点事業	子育て支援センターは現在、市から1日3名分しか人件費が支給されていませんが、実際は3名では対応が難しく受託会社が4名配置し給料は自らが補填していると聞きました。利用時間の増加に伴い、人員増加が必須となりますが、市としてどのように考えていますか。
7	資料1	P. 36	妊婦健康診査	「必要に応じた医学的検査を実施します」とありますが、具体的な検査は決まっていますか。例えばトキソプラズマやサイトメガロウイルスの抗体検査は、妊婦が自ら選択して受ける「任意検査」となっており、先天性の病気が見逃されて生まれてくる赤ちゃんもいます。こうした検査に対して助成もしくは啓発はお考えでしょうか。 また、「ハローベビークラス」でそういった母子感染症に関する啓発をすることは可能ですか。 (参考:先天性トキソプラズマ&サイトメガロウイルス感染症患者会「トーチの会」 <a href="https://toxocmv.org/for_maternity/">https://toxocmv.org/for_maternity/</a> )
8	資料1	P. 36	子育て支援事業（ファミリーサポート事業）	市（委託先：社会福祉協議会）は申込等の利便性向上として、妊娠中からの申込はお考えですか。 また、協力会員の講習を、子どもが幼稚園や小学校に行っている間の時間に開催していただくと受講者が一定見込まれ、同年代の協力会員なら安心できるという利用会員もいると思います。これに対してご意見いただきたいです。
9	資料1	P. 37	妊婦等包括相談支援事業	妊娠8ヶ月前後の面談、出産前で心配事や不安を抱えている妊婦さんにとって安心できる素敵な取組だと思います。面談は妊婦さんが市役所へ出向く形になるのでしょうか。 妊娠後期になると、切迫早産等で入院されている方や、動くのが辛くなる方も出てくるとと思いますが、面談方法はどのような形を予定しておりますか。 （提案） 妊婦さんの負担軽減のためにも、希望者にはオンライン面談形式だと助かる方も多いと思います。
10	資料1	P. 37	乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）	「適切な遊び及び生活の場を与える」とありますが、市として「適切でない遊びや生活」を送る子どもを対象とするという意図があるのでしょうか。 （私はこども誰でも通園制度を虐待防止の文脈から生まれた施策だと認識していますが、広報の仕方として間口を広げたりハードルを下げたりするために、あえてそこをぼやかしているのかなとも思っています。）

通し番号	資料番号	ページ数	項目	質問・意見内容
11	資料1	P. 38	子育て世帯訪問支援事業	<p>一歳未満の子を養育中の家庭への家事支援の取組、素敵だと思います。産後は不調のママは多いと思いますが、この取組は気軽に利用できるのでしょうか。</p> <p>例えば、産後ケアひまわりの取組はとても素敵ですが、予約困難（時期によるのでしょうか、1か月先などでしか取れない）で、1、2回の利用しかできなかったとの声を多く聞きました。素敵な取組で利用希望の方は助かると思うのですが、どのくらいの頻度で利用ができて、家事支援で家事を行うのはどなた（委託）になるのでしょうか。計画が進んでいたらお聞かせいただきたいです。</p> <p>（提案）利用者からの相談込みの訪問であれば難しいですが、純粋に家事の支援であれば、市の子育て中のママを家事支援で雇用することで、子育て中のママへの就業支援の取組になるのではないかと思います。</p> <p>（市のサービスと、働きたいママたちの就労を繋げられたら、子育て中のママにとっても嬉しいと思います。ただ、市の職員さんの負担が大きくなってしまうので、委託先が管理等、何か挟んで取組ができれば良いと思いました。）</p>
12	資料1	P38 P40	こども家庭センター	<p>こども家庭センターに、教育委員会・学校との連携があり、いじめ相談とありますが、それはこども家庭センターでも受付けるのでしょうか。</p> <p>こども自身が悩むことにおいては、年齢を重ねるにつれて出てくると思うので、子どもからの悩みにも、こども家庭センターは対応できる場所になるのでしょうか。</p>
13	資料1	P. 39	育児相談	<p>「気軽に相談できるように、令和7年度からは子育て支援センターの開催時間を午後開催に変更」とありますが、子育て支援センターの利用者は午前中が多く、午後は子どものお昼寝の時間だったり、兄弟がいる家庭は幼稚園や小学校から帰ってきてしまう等、午前中の方がニーズが高そうですが、午後開催に変更となる理由をお聞かせいただければ嬉しいです。</p>
14	資料1	P. 39、49	生涯学習 3 館 こどもサークル情報交換会、子育てフェスティバル	<p>「生涯学習3館こどもサークル情報交換会」に関して、現在年会費を支払ったサークルのみが参加可能と認識しています。現在こども食堂も含めて多くの団体が市内に存在していますが、今後も年会費を支払った団体のみで開催する予定ですか。</p> <p>またもしそうであれば、「子育てフェスティバル」も同様に、入会の案内などは社協やサポートセンターを通じて行う予定はありますか。</p>
15	資料1	P. 44	乳幼児健康診査	<p>3歳6ヶ月児健康診査から、小学校就学前診査まで約3年もの間が空いてしまうので、5歳児診査の導入は有難いです。</p> <p>5歳児健康診査とありますが、座間市は何年度からの実施を目指しているのかお聞かせいただきたいです。また、政府（こども家庭庁）が公費の補助で無償化を目指しているとの発表がありましたが、市での5歳児健診は公費で負担予定でしょうか。</p>
16	資料1	P. 44	電話相談	<p>こういった取り組みは素晴らしいと思う一方で、関係性構築が難しく相談者の精神状態によってはかえって事態を悪化させてしまうリスクも考えられます。また、電話がつながりにくい状態だと、相談することを諦めてしまう人もいます。それについて、どのような対処をお考えですか。</p>
17	資料1	P. 48	コミュニティセンター管理運営事業	<p>「こどもの立場からも利用しやすい施設」とありますが、センターによっては飲食禁止や廊下での遊びを制限するような場所もあります。市として、各管理者に対してどのように「こどもの立場から利用しやすい」を求めていくのか、考えをお聞かせください。</p>
18	資料1	P. 55	安心して外出できる環境、安全、安心な生活環境の整備	<p>「施策の基本方針」で、「「スカイグリーンパーク」と「大坂台公園の多目的広場」の整備（令和4年）をはじめ、市内への公園の整備を進めており」とありますが、スカイグリーンパークはゴルフをする高齢者とサッカーをする子のための施設だと認識していました。</p> <p>座間市として、ここは子どもが利用するための施設というご認識でしょうか。また、子どもの利用者はどの程度いますか。</p>
19	資料1	P. 55	こどもの交通安全を確保するための活動の推進	<p>こどもの交通安全を確保するための活動の推進に関して、小学生に対して交通安全教室は行われていますが、近年、幼児の乗り物型遊具「ペダルなし二輪遊具」の危険な使い方を目にするがあります。乳幼児の保護者に対しての啓発は、市としても行う予定はありますか。</p> <p>（参考：消費者庁  <a href="https://www.cao.go.jp/notice/assets/consumer_safety_release_2019_190717_0002.pdf">https://www.cao.go.jp/notice/assets/consumer_safety_release_2019_190717_0002.pdf</a>）</p>

通し番号	資料番号	ページ数	項目	質問・意見内容
20	資料1	P. 56	防犯カメラの設置	<p>こどもたちを犯罪等から守ために、抑止力になる防犯カメラを学校周辺や公園周辺にもっと増えたら嬉しいとの声をよく聞きます。</p> <p>警察署への画像情報提供数も、令和になってから増加していますし、今後防犯カメラの需要は増えてくると思いますが、今後も設置を増やす予定はございますか。</p> <p>市役所HPの届け出を確認したところ、市長名義が多いのですが、管理・設置は市が行っているのでしょうか。自治会からの設置要望などは少ないのでしょうか。</p>
21	資料1	P. 60	障がい児施策の充実	<p>「基本方針」で「全ての児童が共に成長」「インクルージョン」という言葉がありますが、人的・物的環境が整わないまま「一緒」であることを推進することは、当事者やその家族への負担を大きくし、不登校や精神疾患などの二次障害にもつながりかねません。</p> <p>市として、どのように「インクルージョン」を推進するのか、考えをお聞かせいただきたいです。</p>
22	資料1	P. 61	障害児相談支援	<p>「障害（ここだけ漢字なのは意図がありますか。）児相談支援」に関して、療育日数を出したりする障がい福祉課が相談も受け持つことで、相談者や利用者との権力の勾配が生まれる構造になるのを懸念しています。</p> <p>相談したり、障がい福祉課との間を取り持ったりするのは、新設されるこども家庭センターが適切だと思いますが、座間市の考えをお聞かせください。</p>
23	資料1	P. 61	児童発達支援センター	<p>発達の遅れや障がい児のことですが、発達の遅れは個人差がありますが、座間市の対象となる基準がありましたら、教えていただきたいです。</p>
24	資料1	P. 67	こども・若者の意見聴取	<p>「ニーズをよりの確に踏まえ」とありますが、どのようにニーズを把握する予定でしょうか。</p> <p>先日神奈川県知事の「対話の会」というものを見に行ったところ、多くの高校生が「子どもの意見を聞いてもらえない」と訴えていました。学校や地域、市民団体を通じて子どもの意見を聞く取り組みが必要だと思います。</p>
25	資料1	P. 67	こども・若者の意見聴取	<p>アンケート調査等で意見聴取とのことですが、任意の郵送やWEBアンケートだと、あまり回答率は上がらないと思うので、可能であれば、学生だったら学校でアンケート用紙やタブレットで回答の時間を設けられたら回答率が上がるのではないかと思います。</p>
26	資料1	P68～72	平日日中の教育・保育（幼稚園、保育園、認定こども園等）	<p>座間市の待機児童の人数は県内でもワーストクラスですが、3号認定の【量の見込み及び確保量】の計画データによると、3号認定の2歳児クラスは令和7年度から、1歳児クラスは令和8年度から待機児童が解消する見込みということでしょうか。</p>
27	資料1	P. 79	一時預かり事業	<p>「需要量の見込み」に関して、「過去4年の利用率の平均値を使用」とありますが、過去の実態として、利用を断られている人が多くいますし、この4年間にはコロナ禍もあり、それらの平均値を参考にするのは不適切ではないでしょうか。</p>
28	資料1	P. 86	産後ケア事業	<p>「需要量の見込み」に関して、利用できるのは「生後4ヶ月未満の母子」で「7回まで」と認識しています。利用条件を「生後4ヶ月」や「7回まで」に設定した根拠を教えてください（生後4ヶ月の産後うつリスクが高い、週2回以上の利用で産後うつを防げる、などの根拠はありますか。）。</p> <p>根拠があるとして、現状では年間延利用者数を見ると、出産後の母子の心身ケアに効果があるほど利用をされていないように見えるのですが、市としてどのように認識していますか。</p> <p>利用者数が少ない理由としてどのような原因が考えられますか。</p> <p>現状で利用者数が少ないにも関わらず、来年度から確保量を大幅に増やす理由を教えてください。</p> <p>受け入れ先であるシロタ産婦人科のキャパシティの問題が大きいように思うのですが、いかがでしょうか。</p>